

— 平成23年度 —

【募集期間】平成23年6月20日（月）～ 7月20日（水）

【テーマ】①収入の増加、②ごみ減量の取組み、③効率的な業務改善、④本市のイメージアップに繋がるアイデア、⑤その他（自由テーマ）

【提案数】29件

【審査結果】下記のとおり

テーマ	提案タイトル	内 容	結 果
収入の増加	小金井市全課で広告事業推進、目指せ予算アップ！	広告事業は、現在歳入が少ないため、少しでも歳入を増やすことが必要となる。そのため、掲示板等の数量及び活用状況の確認を行う。その上で、全体の広告収入等の状況を考慮した掲載基準金額を設定する。さらに、各部の一次経費への充当ができるように調整することで、さらなる歳入の増加につながる。	入 賞
本市のイメージアップに繋がるアイデア	まちの魅力・発見プラン 小金井コンシェルジュ	この事業を実施することによって、①市民の利便性の向上、②市内店舗等を紹介することによる地域経済活性化、③商工会等との連携によるコミュニティの強化、④コンシェルジュを務める人たち（退職者や主婦などを主なターゲットとする）の第二の人生へのやりがい。⑤利用者（市民）とコンシェルジュ双方のまちへの愛着が強まる。⑥市のPRや情報が必要なところへ広まる。	入 賞
その他（自由テーマ）	市のイメージキャラクターPR用ポロシャツの販売	市のイメージキャラクター「こきんちゃん」をプリントしたポロシャツを着ることで、夏場の節電対策及び「こきんちゃん」のPR活動となる。さらに、市民からの要望等があれば、ポロシャツ等を商品化し、販売していくことで、新たな歳入の確保となる。	入 賞
効率的な業務改善	リース契約の事務効率化・経費削減	コピー機等は毎年度、各階でリース契約を行っているため、担当課が一括して契約を行うことで、各階の契約事務等の軽減等につながる。	努力賞
	課ごとに回答マニュアル作成（小金井市Q&Aブック）	質問された内容を登録する様式を作成し、次年度の4月頃集約し、全庁共通等から確認できるようにすることで、質問に速やかに対応できるだけでなく、引継の際に参考資料として使用ができる。また、他課の職員の業務を知ることもできる。さらに、各課において回答が異なるということがなくなる。	努力賞
	事務マニュアルor引き継ぎ書を各課で常時作成	事務マニュアルの更新をするために、企画政策課にて7月から8月にかけて前年度のマニュアルの見直しを依頼し、更新をすることで、引き継ぎ時のトラブルが減り、担当がいなくても対応ができ、業務の見直しにもつながる。	努力賞
	印刷製本の事務効率化・経費削減	毎年、各課で窓あき封筒等を契約しているが、統一して発注することで単価が抑えられ、経費の削減、各課の契約事務等の効率化が期待できる。	努力賞
	フレックスタイム勤務制度の導入	固定勤務のため、窓口の開庁時間を拡大することが難しく、また、日曜日開庁の需要への対応もできないので、早番、遅番のようなパターンを設定をし、窓口の開庁時間及び開庁日の拡大をはかり、利用者の利便性をあげる。	努力賞

テーマ	提案タイトル	内 容	結 果
効率的な業務改善	時間外勤務の抑制運動	時間外勤務が増加しているため、①時間外勤務の支給割合を下げる、②支給割合はそのまま、上限時間の設定、③業務ヘルプ担当を設置にすることで、人件費の削減につながる。	努力賞
	窓口手続きの簡略化	死亡の手続等の際、複数課を回ることから、市民から苦情をもらうことがある。そのため、関係各課で必要な書類を全てまとめて封筒に入れて、簡単な内容説明ができるようにすることで、市民サービスの向上になる。	努力賞
	登記簿の電子化による検索システムの効率化	資産税課では、登記の際に使用された測量図の写しがすべて専用の書庫に保管されており、申請があれば有料でコピーを発行しているが、探し出すのに時間がかかる。さらに、保管スペースも上限を超えようとしているため、測量図等の電子化をすることで、発行業務の迅速化、市民を待たせる時間の短縮、保管スペースの効率的活用につながる。	努力賞
	技術の未来への継承、窓口対応の簡略化、正確性	職場の8割が50代であり、団塊世代の大量退職により技術系職者の経験談・対応等をパワーポイント等でまとめる。また、エクセルに事例を「あ・い・う・え・お順」にまとめあげ、検索しやすくすることで、問題解決までの時間が短縮される。しかし、システム構築等に時間がかかるデメリットがあるが、知識の積み重ねを永久的に簡易的に残すことできる。	努力賞
	制度のPR	各種助成や減免制度等を知らないで、申請し忘れていた人たちに対して、市報、ホームページ、窓口のカウンター等に表示し、PRすることで、市民の方の満足度が上がる。	努力賞
	時間外勤務の自動計算システムの構築	手書きで時間外勤務の届け出及び承認を行っているが、累計等のルールが複雑であり、記入時に計算を間違えることも多く、そのチェックに時間を取られているため、入力により自動計算を行うシステムの構築をすることで、事務効率が上がり、コスト削減になる。	努力賞
	全庁共通・各課フォルダの整理を行うためのルールづくり	現在、全庁共通及び各課フォルダの空き容量不足が問題となっているため、フォルダ整理のマニュアルを作成し、一定期間ごとにチェックすることで、合理的な業務実施が図られると考える。	努力賞
	内部情報端末機能の一元化	内部情報端末の管理コストがかかる理由として、①組織改正・人事異動時の対応は複雑、②数有台の内部情報端末の保守は難しいためである。そのため、内部情報端末機能の一元化をするために、①内部情報端末は、シンクラアントに切り換え、②C-navi、財務会計、インターネット機能は、サーバに実装することで、リスクとして、システム構築時、コストがかかるが、対策として、①MS office→open office、②リースアップ内部情報端末は、買い取って、シンクアントに切り換えることで、①内部情報端末の保守コスト削減、②今後庁舎移転時、ズムズに行え、③情報セキュリティの向上につながる。	努力賞
本市のイメージアップに繋がるアイデア	転入者懇親会の開設について 小金井市に新築された家屋に新規転入される方は、大概、ライフステージが同時期であることが多いため、この様な会合をとおして、育児等の情報交換を行うことができる。また、地域に地縁ネットワークができる事で、子育て環境整備の担い手（地域パトロール等）としての役割を担ってもらおう。	努力賞	

テーマ	提案タイトル	内 容	結 果
本市のイメージアップに繋がるアイデア	Step Phone ～電話対応能力向上への第一歩～	一般企業ではサービス向上に向けた電話対応マニュアル等があるが、行政機関では、まだ数少ないため、市として取り入れることでイメージアップになる。 現時点で、完成された電話対応を行うのは困難であるが、比較的容易で実現可能な事から始め、それを浸透させ電話対応能力向上の為の最初のステップにすることで、電話対応の質を飛躍的に向上させてゆく事が可能である。	努力賞
その他（自由テーマ）	庁内蛍光灯の省エネ対応	節電対策として、①全施設の状態の把握を行い、②対象施設の絞り込みを行い、実施年度の計画を設定し、③予算措置として、節電対策機器への交換等の費用を申請し、平成24年度より随時節電製品への交換を実施していき、④その他として、収集した情報を基に、各施設における災害時の必要電力量を調べ、緊急対応の際に利用していく。そうすることで、①節電効果として、コスト削減に繋がり、②市民へのアピールとして、尋ねられた際に、どれだけ節電を実施しているのかを説明することができ、③災害時の対応として、電気の供給が停止または削減することが予想されるが、どの施設にどれだけの電力を供給するかを決めておくことで、災害対策にも繋がる。	努力賞
	小金井市ウォーキング生活	増え続ける医療費を少しでも減らすために、健康的な生活スタイルを身につけるべきだと考える。また、自転車事故等の解決も同時に行いたい。そのために、市として「ウォーキング運動」を進める。①毎週〇曜日は歩いて買い物に行く、②エコバックのように歩いて買い物に来た人にはキャッシュバック、③効率よく歩いて買い物するためのルートマップの作成、④夏休み等、小中学生はなるべく自転車を使わずに体力づくりを呼び掛ける。そうすることで、1人ではなかなか続けられないウォーキングも地域全体として取組むことで、誰でも気軽に参加でき、健康的な生活へのきっかけになり、また、自転車を使う習慣を減らして、放置自転車や事故を少なくできる。	努力賞
ごみ減量の取組	プラスチックで作った服の販売	ごみ減量の取組として、プラスチックの再利用を利用して、こきんちゃんをプリントした服（T-シャツ等）を作成し、職員等に有償で販売することで、歳入の増加につながると同時に市民へ更なるリサイクルの推進のPRになる。	チャレンジ賞
効率的な業務改善	執務室のフリースペース化（机の共有）	机の上が、書類で山積みになっている職員がいるため、個人の机を無くし、大きいテーブルを課で共有し、書類は課共有のロッカー等に入れ、個人用のトレー（レターケース等）を用意し、文具などは極力共有し、私物は基本的に執務室には置かないようにすることで、作業するのに必要最低限のものしか机に置く必要が無いので、机を広く使え、整理整頓が行き届執務室を会議等の多目的に使用でき、さらに、私物が減り、公文書をしまい込むようなこともなくなる。	チャレンジ賞
	消耗品購入の事務効率化・経費削減	組織改正等があった際、ゴム印を購入しているが、担当課において、一括購入することで、に消耗品購入事務の効率化及び経費削減につながる。	チャレンジ賞
	市内宛定型郵便料の削減	25g以下の定型郵便物については、100枚以上同一住所から市内に出すと割引が受けられるため、25g以下定型郵便を送っているかを調査し、結果をもとに、各課をブロックに分け、毎日ブロックごとに集計をとり、1つのブロックで100枚を超えていなかったら、他のブロックと混ぜて割引適用を受ける事で、郵便料の削減、郵便計器の消耗を防ぐことにつながる。	チャレンジ賞

テーマ	提案タイトル	内 容	結 果
その他（自由テーマ）	公簿・調査資料の保管体制の見直し	<p>閲覧用の公簿①登記簿副本（A4ファイル450冊強）、②登記申請書副本（B5及びA4ファイル450冊弱）及び課税資料として保管している③家屋調査票（A4長形ファイル650冊強）について、毎年、増えており、将来収容場所の確保もできなくなる可能性があるため、①都及び近隣市の状況等調査し、②実施案及び実施年度などの案を設定し、③それに向けた予算を組み、④要綱等の改訂をすすめる。そうすることで、①情報管理コストの削減、検索時間・コストの短縮が図られ、②個人情報をもより厳しく管理でき、③消失防止等の対策ができる。</p> <p>なお、①は市役所で閲覧を廃止しても法務局で情報入手は可能（ただし、費用は多少多くかかる） ②は法務局には保存していない情報が多いので、何らかの形での保管は必要 ③は、内部資料なので、媒体は問われない。</p>	チャレンジ賞
	子育てタウン構想実現のための駅前保育園誘致	<p>市長の「子育てタウン」構想を実現するために、さらなる子どもを預ける施設が必要となると思われるため、武蔵小金井駅前と東小金井駅前に民間保育所を市で誘致することで、「子育てタウン」構想に貢献でき、子どもを安心して預けられる。そうすることで、まちの魅力が上がり、若い世代が住み、その人たちの税を担う力と購買力が、今後のまちづくりにいかすことができる方法だと確信している。</p>	チャレンジ賞
	安心できる学校給食	<p>福島第一原発の事故を受け、子どもたちの学校給食への関心は高まっているが、小金井市では給食に使用する食材をやっと測定した。しかし、問題の産地のものは測定せず、また、産地も公表されていない。そのため、まず、学校の栄養士が被曝等について勉強し、父母等と情報交換し、給食食材産地を公表する。また、市報で放射能測定室の会員を広く公募し、多く稼働させ、給食食材を測定し、市独自のより低い基準を設定し、HP、各校への配付物等に小金井の学校への取組を公表し、父兄に安心してもらおう。</p> <p>そうすることで、安心できるところへ引っ越したいと思っている人が多いので、市が学校給食にこれだけ取り組みれば、かなりのイメージアップになり、移住を希望する人が増える。</p>	チャレンジ賞
	小金井野菜のブランドの確立	<p>福島第一原発の事故を受け、小金井の放射能測定室は、週3回しか稼働していない。測定は、食品に限られており、土壌（畑）は測定していない。そのため、農家の人へ放射能測定の理解を得て、放射能測定室を週3回以上稼働させ、経済課と環境政策課が協力し合い、測定室で土壌も図れるようにし、JA等に「小金井野菜コーナー」を設置し、「土壌測定と野菜の測定をして、〇ベクレル以下なので安心する」ことで、安心できる小金井野菜ブランドを確立し、かなりのイメージアップが期待できる。</p>	チャレンジ賞
	計画年次有給休暇の取得について	<p>超過勤務が恒常化しつつあり、有給休暇が有効に活用されていないため、前年度分の繰越分の年間計画をたてることで、長期の休暇も取得することが可能となり、有給休暇の取得率も上がり、心身のリフレッシュや健康増進等が行われ、業務が効率的に進められていくようになる。</p>	チャレンジ賞